

2019年3月28日

## 東芝プラントシステム株式会社

(東証一部、証券コード：1983)

### B. Grimm 社-Siemens 社とプラント効率化等協業に向けた覚書を締結

当社は、タイ王国において施工した工業団地向けコンバインドサイクル・コージェネレーション発電所（以下、CCPP）について、プラントオーナーのB.Grimm Power PCL 社（以下、B グリムパワー社）及びガスタービン発電機供給メーカーの Siemens 社と三者共同で、既設プラントのデジタル化による性能向上等の検討を進める覚書を締結しました。

これまでタイ国内において、当社は B グリムパワー社向けに3か所の工業団地で合計 9 基の発電所建設を EPC\*1 コントラクターとして受注し、いずれも期日通りに完工、順調に営業運転しております。ここで作られた電気の一部はタイ国発電公社 (EGAT) に売電され、余剰電力及び発生蒸気は工業団地内需要家へ供給されています。今般、これらのプラントにおける稼働効率向上・信頼性向上、プラントデジタル化に向けた施策を三者共同で検討・提携し、順次実施していくことで合意いたしました。

当社は、2015 年より EPC プロジェクトにおけるエンジニアリングのデジタル化を進めており、統合エンジニアリングツール TIET やプラントシミュレータ（デジタルツイン）などを開発・導入して参りました。今後は、IoT\*2 により、プラント運転データをクラウドに取り込み、CPS\*3 技術を展開することで、CCPP プラントの更なる効率化や安定稼働を実現し、工業団地内の電力及び発生蒸気の安定的な供給を目指して参ります。

今回の B グリムパワー社及び Siemens 社との覚書調印は、発電事業者／主機メーカー／EPC コントラクターが各々の知見を活かしてデジタル化を進める画期的な取組みであり、立場の異なる三者で開発を進めることで、発電事業者にとって利便性が高くかつ有用なシステム構築が可能となります。

- \*1 EPC : Engineering (設計)、Procurement (調達)、Construction & Commissioning (施工・試運転) までの一括請負。
- \*2 IoT : Internet of Things の略で、様々な機器をネットに接続して状況の把握や遠隔操作などを行うこと。
- \*3 CPS : Cyber Physical System の略で、実世界 (Physical) におけるデータを収集し、デジタル技術などを用いて分析・活用しやすい情報や知識とし、それを実世界にフィードバックすることで、付加価値を創造する仕組み。

(参考：B グリムパワー社向け当社施工プロジェクト)

プロジェクト	出力／発電方式	完工時期
アマタ・ナコーン第3発電所 (チョンブリー県)	130MW CCPP (ガスコンバインド)	2012年9月
アマタ・ナコーン第4発電所 (チョンブリー県)	130MW CCPP (ガスコンバインド)	2015年11月
アマタ・ナコーン第5発電所 (チョンブリー県)	130MW CCPP (ガスコンバインド)	2016年6月
アマタ・シティ第1発電所 (ラヨン県)	120MW CCPP (ガスコンバインド)	2013年11月
アマタ・シティ第2発電所 (ラヨン県)	120MW CCPP (ガスコンバインド)	2013年5月
アマタ・シティ第3発電所 (ラヨン県)	130MW CCPP (ガスコンバインド)	2018年2月
アマタ・シティ第4発電所 (ラヨン県)	130MW CCPP (ガスコンバインド)	2018年6月
アマタ・シティ第5発電所 (ラヨン県)	130MW CCPP (ガスコンバインド)	2018年9月
ボーウィン第1発電所 (チョンブリー県)	130MW CCPP (ガスコンバインド)	2016年11月

3月21日、IEEE PTS GTD ASIA（バンコク国際貿易展示場）にて行われた覚書締結式典にて



左より、当社社長 林 正孝、B グリムパワー社 CEO Preeyanart Soonthornvatha 氏、Siemens Industrial Turbomachinery AB 社 CEO Hans Holmstrom 氏、Siemens Ltd. 社 CEO Markus Lorenzini 氏

以 上

---

【本件に関するお問い合わせ先】  
東芝プラントシステム  
業務部 広報担当  
Tel : 045-500-7012  
e-mail : kouhou@toshiba-tpsc.co.jp